

「はこビュン」と「JALCARGO」で仙台からシンガポールへお届け！ JR 東日本グループと JAL グループで連携した海外輸送を初めて実施します

- 東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:喜勢 陽一、以下「JR 東日本」)と日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:鳥取 三津子、以下「JAL」)は、両社グループで連携した海外輸送トライアルを行います。
- JR 東日本の列車荷物輸送サービス「はこビュン」と JAL の国際線航空貨物輸送を組み合わせ、新幹線と航空機の速達性を活かし、地産品を仙台からシンガポールまで約 19 時間で輸送します。
- 今回は JR 東日本グループの仙台ターミナルビル株式会社が運営する「JR フルーツパーク仙台あらはま」で収穫した梨をシンガポールへ輸送し、同社が現地イベント「THE JAPAN RAIL FAIR 2025」で PR・販売を行います。
- 今回のトライアルをきっかけに、JR東日本グループとJALグループで連携し、日本各地の優れた地産品の海外輸出拡大を検討していきます。

1. 海外輸送の概要

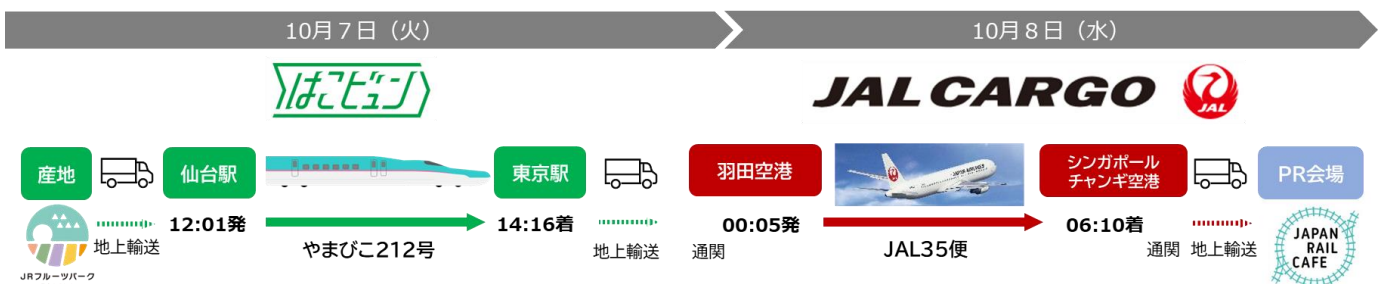
JR 東日本グループと JAL グループは、「はこビュン」と「JALCARGO」を組み合わせ、地産品の新幹線・航空機の輸送、および通関手続きを両社で連携してワンストップで輸送するトライアルを実施します。本取り組みによって迅速かつシームレスな輸送を実現し、一般的に 24 時間を超える輸送時間を大幅に短縮し、約 19 時間で輸送します。

地域からの輸送に新幹線を活用することで、輸送時間の短縮とともに、トラックドライバーの労働力不足の解消や CO₂ 排出量削減などを目指すモーダルシフトの受け皿として新たな輸送の選択肢を拡大し、持続可能な物流の推進に寄与します。これにより、日本各地の優れた地産品の海外輸出を促進し、地域経済の活性化にも貢献していきます。

(1) 海外輸送の詳細

- ①実 施 日: 2025 年 10 月 7 日(火)~8 日(水)
- ②輸 送 列 車: やまびこ 212 号(仙台駅 10 月 7 日 12:01 発、東京駅 14:16 着)
- ③輸送航空便: JAL35 便(羽田空港 10 月 8 日 00:05 発、
シンガポールチャンギ国際空港 06:10 着※) ※シンガポール現地時間
- ④輸 送 品: 梨(約 300 玉)

(2) 輸送イメージ



2. シンガポールでのPR・販売の概要

- (1) 日 時: 2025 年 10 月 9 日(木)~11 日(土)
- (2) 会 場: THE JAPAN RAIL FAIR 2025 (Guoco Tower Urban Park)
- (3) 出展者: 仙台ターミナルビル株式会社
- (4) P R: 梨の試食・販売、パンフレット配布等による仙台の魅力発信
- (5) 販 売: 梨 約 300 玉(「JRフルーツパーク仙台あらはま」で生産、収穫直前まで樹上で完熟させたもの。)

<THE JAPAN RAIL FAIR について>

JR 東日本のシンガポール現地法人である JR East Business Development SEA Pte. Ltd.が、鉄道の日(10 月 14 日)に合わせ、毎年開催するイベントです。

同社が運営する JAPAN RAIL CAFE 前の会場にて、日本各地の事業者、自治体等の皆さまと一緒に日本の旅や食に関わる情報を中心に発信、毎年多くのシンガポールのお客さまでにぎわいます。2025 年は、10 月 9 日(木)~11 日(土)の 3 日間開催します。

<https://www.japanrailclub.com/tjrf2025/>



<JAPAN RAIL CAFE シンガポールについて>

訪日旅行リピーターに「旬な日本」を発見、体感、共有していただくコミュニケーションの場です。2016 年 12 月のオープン以来、日本各地の最新情報、日本への旅行サポートサービスをワンストップで提供しています。

<https://linktr.ee/japanrailcafe>

3. 今後の展開について

今回の輸送トライアルの結果を踏まえ、今後も両社で連携し、地産品の海外輸出拡大を検討します。

JR 東日本とJALは、東北地域の経済・社会・文化の発展を目指す共創プロジェクト(東北共創プロジェクト)を始動しており、これからも両社のアセットを活用した「共創企画」をはじめ、さまざまな連携を通じ、東北地域・日本全国の活性化・発展に貢献するとともに、その魅力を発信し、人流・商流の創出につなげていきます。

<はこビュンについて>

速達性・定時性に優れ、環境にも優しいという鉄道の強みを活かし、JR 東日本グループが展開している荷物の輸送サービスです。鉄道によって地域とモノをつなぐことで、地域の魅力発信を行い、人々の豊かなくらしづくりや社会課題の解決に向けて取り組んでいます。

※「はこビュン」の具体的なサービス、お申込み方法については、株式会社ジェイアール東日本物流のホームページをご参照ください。

<https://www.jrbutsuryu.jregroup.ne.jp/business/shinkansen.html>



<JALCARGO について>

JALCARGO は、「変わりゆく社会ニーズをとらえた高品質な物流インフラとして、お客さまの想いに応え、社会へ貢献する」というパーパスを掲げ、JAL の貨物郵便事業を担っております。貨物ハンドリングの品質を磨くとともに、旅客機貨物スペース、3 機の 767 自社貨物専用機、そして他社大型貨物機を組み合わせた、ネットワークを最大限に活かし、高品質な航空貨物輸送をご提供しています。医薬品・生鮮のような生活に不可欠な品目、エクスプレス・ケミカルのような需要の高まる品目をはじめ、お客さまの大切な航空貨物を想いとともに、世界各国にお届けしています。

<https://www.jal.co.jp/jp/ja/jalcargo/jalcargo-next>

JAL CARGO



<JR フルーツパーク仙台あらはまについて>

宮城県仙台市荒浜地区に 2021 年 3 月にオープンした観光農園です。一年を通して、ブルーベリーや梨・りんご・ぶどう・いちごなど、8 品目 150 種類以上の四季折々のフルーツが楽しめます。

<https://stbl-fruit-farm.jp/arabama>

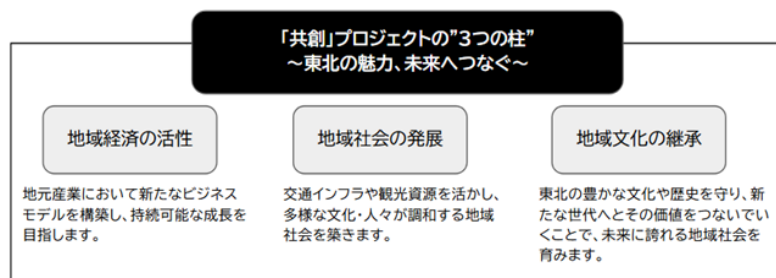


JR フルーツパーク

仙台あらはま

<東北共創プロジェクトについて>

JR 東日本東北本部とJAL東北支社が、2025 年 8 月に開始した共創企画プロジェクトです。両社が担う交通ネットワークを活かし、東北地域の経済・社会・文化の発展を目指します。



東北の魅力、未来へつなぐ